

平成30年度 第1回 消費生活モニターアンケート集計

1 調査趣旨

I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

川崎市では、平成25年9月からプラスチック製容器包装の分別収集の全市拡大と普通ごみの収集回数を週2回へと変更した結果、市の人口が150万人を突破する中においても、普通ごみ収集量が減少しています。

今後も地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、エコ暮らしの実践をし、さらに3R（アンケート問2の解説を参照）を推進することが求められています。そこで、今回は、川崎市のごみの減量・リサイクルの取組を知っていただくとともに、ごみに関する消費者の実態と意識を調査し、今後の行政の参考資料とするためにアンケートを実施しました。

II 節電・省エネ等について

川崎市では、日常生活の中で一人ひとりが工夫し、無駄な電力を使わないことや先端技術の活用などにより、スマートなライフスタイルを定着させていくことで、二酸化炭素（CO₂）の削減や地球温暖化防止の取組を進めています。今回は、このようなスマートライフスタイルの定着に向け、節電や省エネ等に関する意識を調査し、今後の施策の参考とするため、アンケート調査を実施いたしました。

2 調査事項

①消費生活とごみの減量・リサイクルについて

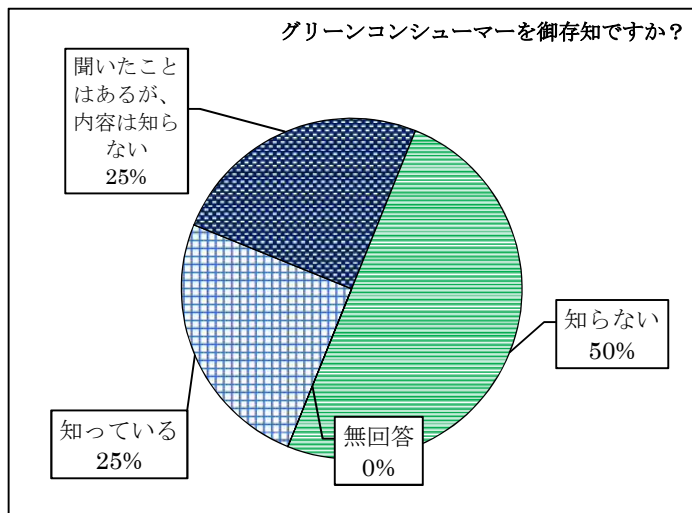
②節電・省エネ等について

- | | | |
|-----------|----------------|------|
| 3 調査対象 | 平成30年度消費生活モニター | 20名 |
| 4 調査方法 | 郵送 | |
| 5 回答数・回答率 | 20通 | 100% |

I 消費生活とごみの減量・リサイクルについて

【問1】 環境に配慮した行動をする消費者のことを「グリーンコンシューマー」と呼んでいますが、その行動などについて伺います。

1 グリーンコンシューマーを御存知ですか。

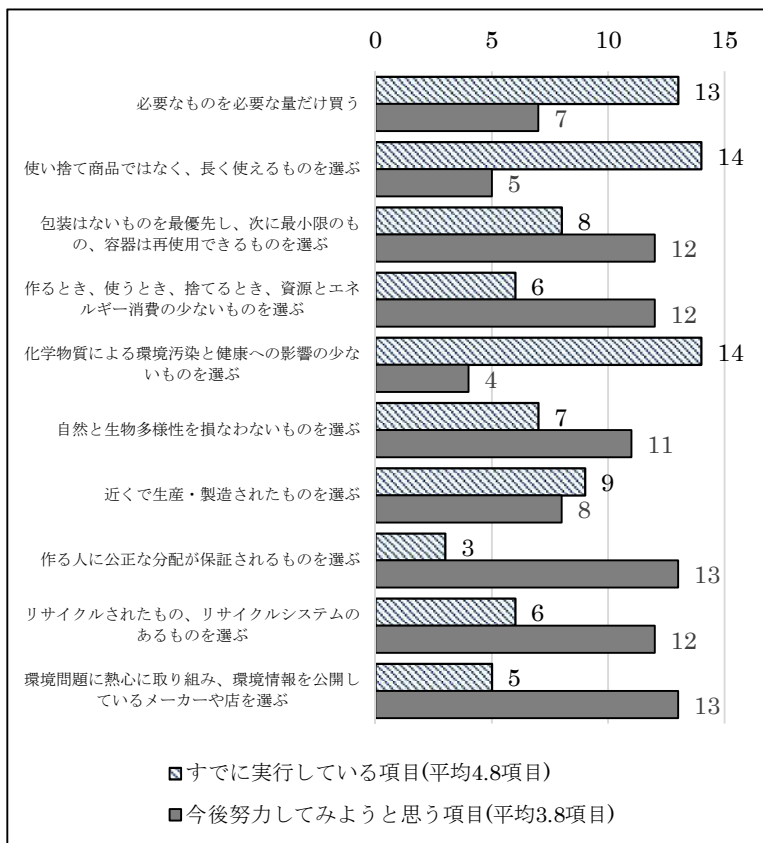


グリーンコンシューマーとは、一般的には、環境に良い商品を選んで買う意識の高い消費者、さらに価格が高くても環境に良い商品を買う消費者、環境にとって良い企業活動を行うように監視する消費者、環境に悪い商品や企業を拒否する消費者の総称として用いられています。

◎「聞いたことがあるが、内容は知らない」「知っている」と回答した方が、「知らない」と回答した方と同数となる結果となりました。

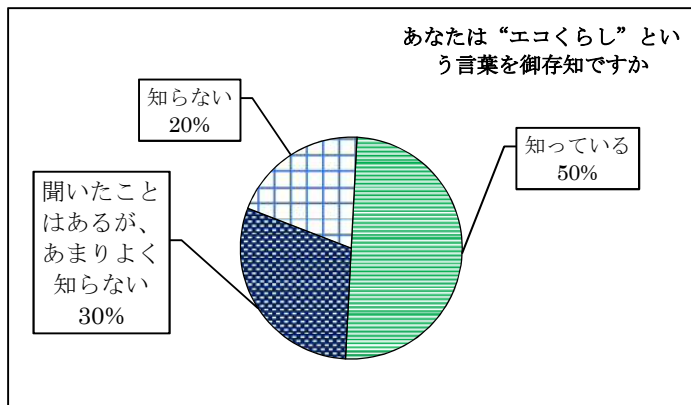
2 グリーンコンシューマー10原則の中で、【既に実行している項目】【今は実行していないが、今後努力してみようと思う項目】が、あれば回答欄に○印をしてください。（複数回答可）

グリーンコンシューマー10原則 ※ グリーンコンシューマー全国ネットワーク著「グリーンコンシューマーになる買い物ガイド」より	
1	必要なものを必要な量だけ買う
2	使い捨て商品ではなく、長く使えるものを選ぶ
3	包装はないものを最優先し、次に最小限のもの、容器は再使用できるものを選ぶ
4	作るとき、使うとき、捨てるとき、資源とエネルギー消費の少ないものを選ぶ
5	化学物質による環境汚染と健康への影響の少ないものを選ぶ
6	自然と生物多様性を損なわないものを選ぶ
7	近くで生産・製造されたものを選ぶ
8	作る人に公正な分配が保証されるものを選ぶ
9	リサイクルされたもの、リサイクルシステムのあるものを選ぶ
10	環境問題に熱心に取り組み、環境情報を公開しているメーカーや店を選ぶ



【問2】 川崎市では、地球環境にやさしい持続可能なまちの実現をめざして、「ごみ減量 未来へつなげるエコ暮らしプラン（＝川崎市一般廃棄物処理基本計画）」を策定し、取組みを進めています。

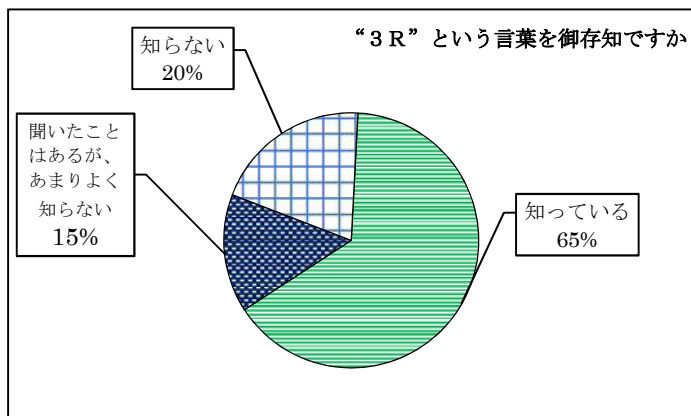
(1) あなたは、“エコ暮らし”という言葉を知っていますか。



“エコ暮らし”とは、ごみの発生抑制に資する生活や活動、節電などの省エネ行動、庭や花壇の緑化の推進など、日々の暮らしの中で、環境に配慮した行動を積み重ねていくことです。

◎「知っている」と回答した方と、「聞いたことがあるが、よく知らない」「知らない」と回答した方が同数となる結果となりました。

(2) あなたは、“3R”という言葉を知っていますか。



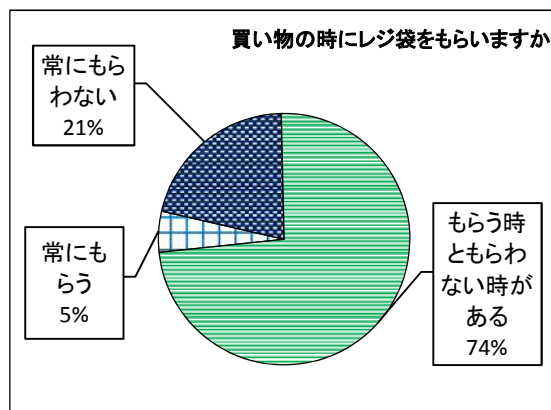
“3R”とは、Reduce（リデュース）⇒発生・排出抑制：物を大切に使い、ごみを減らす。Reuse（リユース）⇒再利用：使える物は繰り返し使うこと。Recycle（リサイクル）⇒再生利用：ごみを資源として再び利用すること。の言葉の頭文字の3つのRのことです。

◎「知っている」と回答した方が、「聞いたことがあるが、よく知らない」「知らない」と回答した方を上回り、前年度と比べ「知っている」と回答した方の比率が上がりました。

【問3】 不要なレジ袋の削減は、日常生活の中で最も身近で誰でも取り組むことができる環境に配慮した行動です。地球温暖化対策の推進と循環型社会を構築するために、レジ袋はもらわない、配らないといった市民・事業者の身近な行動が重要です。今後も、環境配慮型ライフスタイルの確立に向けた取組の一つとして、市民・事業者・行政の協働によるレジ袋の削減や、マイバッグの使用等の取組を促進するため、次のことについて伺います。

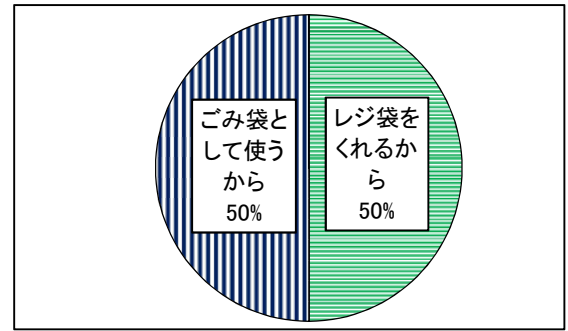
1 買い物の時にレジ袋をもらいますか？

- ① 常にもらう
- ② 常にもらわない
- ③ もらう時ともらわない時がある



2 1でレジ袋を ① 常にもらう と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらう理由は何ですか。

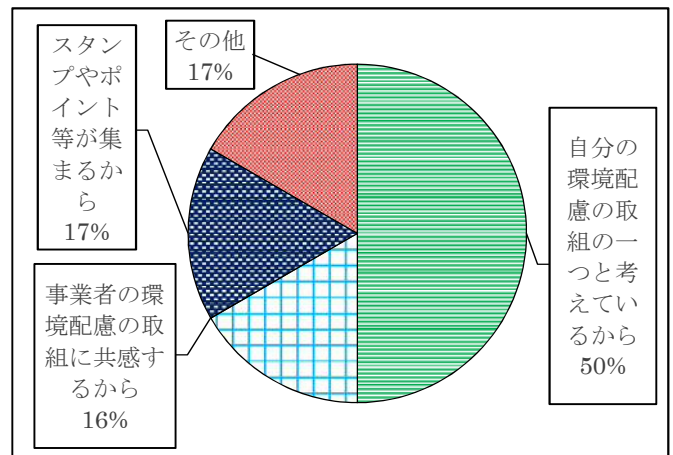
- ① レジ袋をくれるから
- ② 購入品の入れ物として必要だから
- ③ ごみ袋として使うから
- ④ その他



◎ 「ごみ袋として使うから」「レジ袋をくれるから」と回答した方が、それぞれ全体の半分となりました。

3 1でレジ袋を ② 常にもらわない と答えた方にお伺いします。レジ袋をもらわない理由は何ですか。

- ① 自分の環境配慮の取組の一つと考えているから
- ② 事業者の環境配慮の取組に共感するから
- ③ スタンプやポイント等が集まるから
- ④ その他

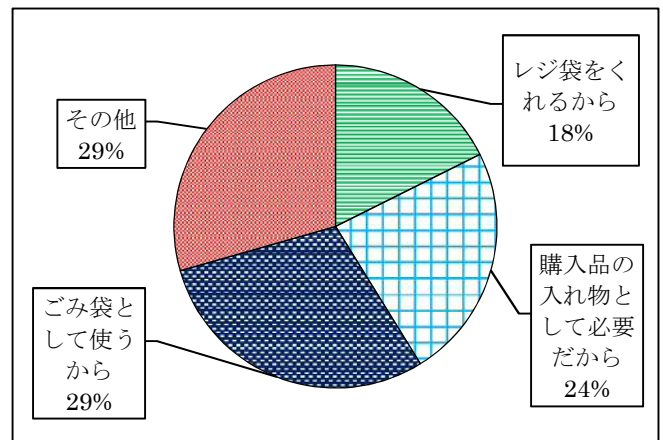


4 1でレジ袋を ③ もらう時ともらわない時がある と答えた方にお伺いします。

レジ袋をもらう時の理由は何ですか。

- ① レジ袋をくれるから
- ② 購入品の入れ物として必要だから
- ③ ごみ袋として使うから
- ④ その他
 - ・レジ袋が無料のときはもらう
 - ・エコバック等を忘れて入りきらない時。
 - ・電車で買い物に行く時はマイバスケットはかさばってしまうため。

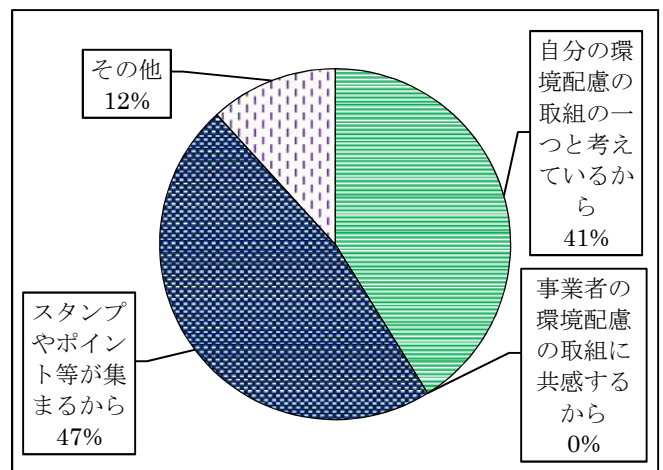
ほか



5 1でレジ袋を ③ もらう時ともらわない時がある と答えた方にお伺いします。

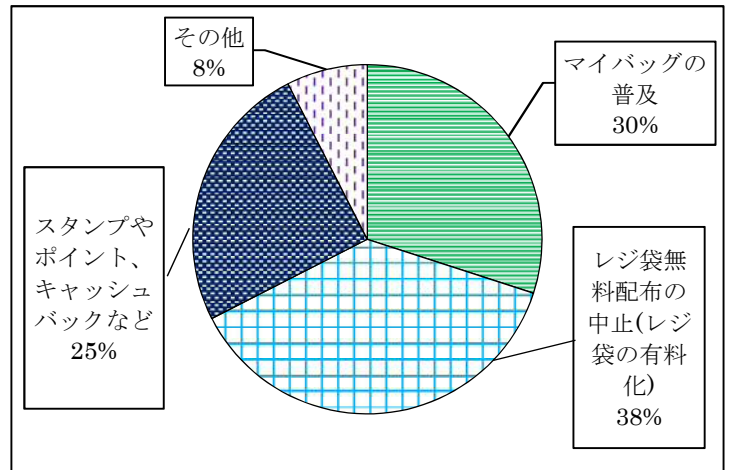
レジ袋をもらわない時の理由は何ですか。

- ① 自分の環境配慮の取組の一つと考えているから
- ② 事業者の環境配慮の取組に共感するから
- ③ スタンプやポイント等が集まるから
- ④ その他
 - ・袋を持っているから。
 - ・環境配慮とマイバスケットだと、買い物した品物を袋に移し替える必要がないから。



6 レジ袋削減の取組には、何が有効だと思いますか。(複数回答可)

- ① マイバッグの普及
- ② レジ袋無料配布の中止(レジ袋の有料化)
- ③ スタンプやポイント、キャッシュバックなど
- ④ その他
 - ・安価なレジ袋を置かない
 - ・レジ袋削減による効果の可視化・数値化。



【問4】「ミックスペーパー」と「プラスチック製容器包装」の分別収集について伺います。

1 ミックスペーパーをどのくらいの頻度で出していますか。

- ① 毎週 40%
- ② 2週間に1度程度 15%
- ③ 月に1度程度 35%
- ④ 出したことがない 10%

2 ミックスペーパーを分別することをどう感じていますか。

- ① 分別はわかりやすく、簡単である 32%
- ② 分別はわかりやすいが、面倒だと思う 42%
- ③ 分別はわかりにくいだが、わかる範囲で出している 21%
- ④ 分別はわかりにくく、ほとんど分別していない 5%
- ⑤ ミックスペーパーの分別を知らない 0%

◎回答者は概ねミックスペーパーの分別をしています。分別方法についてはわかりにくいと感じる方もいるという結果になりました。

3 1で ④ 出したことがない と答えた方に質問します。理由について、該当するものに○印をお願いします。

- ① 対象物がないから 50%
- ② 資源集団回収収集日に出しているから 0%
- ③ 分別の方法が分からないから 0%
- ④ その他 50%

4 プラスチック製容器包装をどのくらいの頻度で出していますか。

- ① 毎週 85%
- ② 2週間に1度程度 5%
- ③ 月に1度程度 5%
- ④ 出したことがない 5%

- 5 プラスチック製容器包装を分別することをどう感じていますか。
- ① 分別はわかりやすく、簡単である 25%
 - ② 分別はわかりやすいが、面倒だと思う 35%
 - ③ 分別はわかりにくいだが、わかる範囲で出している . . . 40%
 - ④ 分別はわかりにくく、ほとんど分別していない 0%
 - ⑤ プラスチック製容器包装の分別を知らない 0%

◎プラスチック製容器包装の分別は約4割の方が分かりにくいと感じている結果となりました。

- 6 4で ④ 出したことがない と答えた方に質問します。理由について、該当するものに○印をお願いします。
- ① 対象物がないから 50%
 - ② 分別の方法が分からないから 50%
 - ③ その他 0%

【問5】 拠点回収事業について伺います。

1 川崎市では、拠点回収事業として、小型家電・布類・牛乳パック・蛍光管・インクカートリッジを区役所等市内公共施設に回収ボックスを設置し、回収していますが、御存知ですか。

- ① はい 55%
- ② いいえ 45%

2 1で ① はい と答えた方に質問します。それは、どこでお知りになりましたか。(複数回答可)

- ① 市政だより 37.5%
- ② 自治体・町内会からの回覧物 . . . 18.8%
- ③ 市のホームページ 12.5%
- ④ 区民祭等のイベント 6.3%
- ⑤ その他 25%

- ・家族・地域内の人から聞いて
- ・施設に回収ボックスが設置されているのを実際見かけて
- ・王禅寺エコ暮らし環境館



3 現在、拠点回収場所を次のとおり(※1)設置しています。今後新たに公共施設に設置する場合、どこに設置するとよいと思いますか。

(※1) 区役所、支所、出張所、生活環境事業所、ヨネッティー堤根・王禅寺、橋リサイクルコミュニティセンター、かわさきエコ暮らし未来館・王禅寺エコ暮らし環境館、CC かわさき交流コーナー (高津市民館内)
※品目によっては、設置していないものもあり

- ・図書館

◎公共施設に限らずコンビニエンスストアやスーパーマーケット、駅など、日常的によく利用する場所に設置されれば便利との意見がありました。

【問6】 資源集団回収についてお聞きします。

1 お住まいの地域では『資源集団回収』が実施されていますか。

- ① 実施されている 75%
- ② 実施されていない 0%
- ③ わからない 25%

2 地域で行われている『資源集団回収』を利用していますか。

- ① 利用している 63%
- ② 利用していない 37%

3 2で「① 利用している」とお答えした方に質問します。お住まいの地域の回収頻度を教えてください。

- ① 毎週1回 46%
- ② 毎週2回 0%
- ③ 毎月1回 46%
- ④ その他 8%

『資源集団回収』とは、町内会や自治会、PTA等地域の市民で組織される団体が、回収日時・回収場所を決め、新聞・雑誌・段ボール等の資源化物を持ち寄り、回収業者に引き渡す活動です。ごみの減量・リサイクル推進のため、地域で行われている『資源集団回収』へのご協力をお願いします。



◎回収日が決まっている、いつ業者に引き渡されているかは不明だがマンションにて回収しているという御意見がありました。

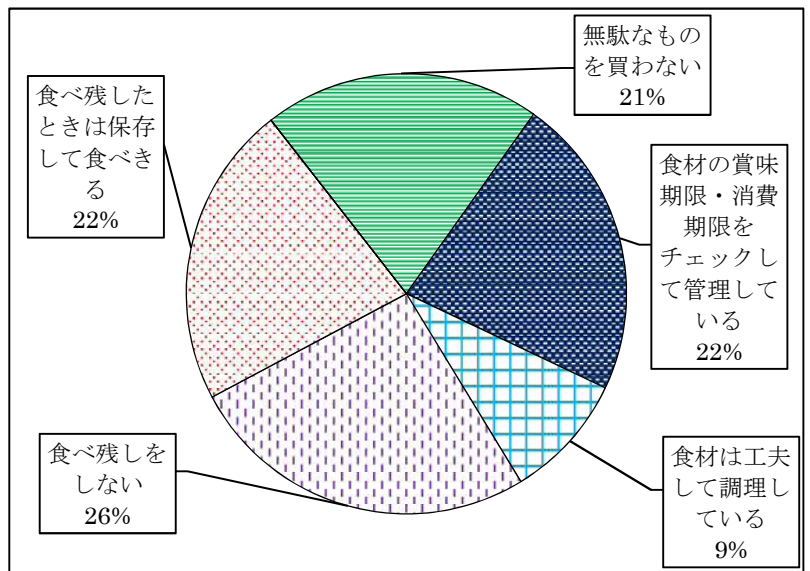
4 2で「② 利用していない」とお答えした方に質問します。利用していない理由を教えてください。

- ① 近くに回収場所がないため 12.5%
- ② 回収頻度が少ないため 12.5%
- ③ 実施しているか分からないため 62.5%
- ④ その他 12.5%

【問7】 生ごみについてお聞きします。

1 生ごみの発生量を少なくするために、何か取組をしていますか（複数回答可）

- ① 無駄なものを買わない
- ② 食材の賞味期限・消費期限をチェックして管理している
- ③ 食材は工夫して調理している
- ④ 食べ残しをしない
- ⑤ 食べ残したときは保存して食べきる
- ⑥ 特に何もしていない



2 生ごみの80～90%は水分で、この水分を減らすことで臭いの問題などを軽減でき、運搬に伴う燃料の消費量を減らすことができると言われています。生ごみの水分を減らすために、何か取組をしていますか。

- ① 生ごみを絞ったりして水切りしている 71%
- ② 風通しのいいところで乾燥させている 5%
- ③ 電動生ごみ処理機で乾燥させている 0%
- ④ 特に何もしていない 24%

3 生ごみはどうしてもごみとして出るものですが、ごみとして出さない取組として、生ごみ処理機やコンポストにより堆肥化するリサイクルがあります。このようリサイクルをしていますか。

- ① 既に取り組んでいる 0%
- ② 関心はあるが取り組み方がわからない 45%
- ③ 知らないのでやっていない 15%
- ④ 手間や負担が大きそうなので特に何もするつもりはない 40%

4 生ごみの減量化・資源化の取組として、生ごみリサイクルの手法について紹介やアドバイス等を行う取組をしていますが、次のいずれかについて、受けてみたいと思うものを教えてください。(複数回答可)

- ① 生ごみリサイクル講習会(年に1～2回開催)※無料 52%
- ② 生ごみリサイクル相談会(年に2～3回開催)※無料 12%
- ③ 生ごみリサイクルリーダーの派遣
(依頼内容に基づき講習やアドバイスを行う)※無料 12%
- ④ 特に関心はない 24%

5 飲食店からは、食べ残しによる食品廃棄物が多く発生しているため、川崎市では食べきりを推奨している店舗を「食べきり協力店」として認定するなど、食品廃棄物の減量化に向けた取組を実施しています。飲食店での食べ残しを減らすための取組として、どのような取組が有効だと思いますか。(複数回答可)

- ① 食べきりを推奨するポスターを飲食店に掲示する。 15%
 - ② 注文時に「ご飯少なめができます」などの呼びかけをする。 23%
 - ③ 半ライス・ミニ〇〇などの小盛メニューの提供をする。 31%
 - ④ ドギーバックなどの持ち帰り用パックを提供する。 25%
 - ⑤ その他 6%
- ・完食に伴う割引サービス
 - ・料理の持ち帰りサービス 等

【問8】 今後は、地球環境全体を視野に入れ、「ごみをつくらない社会」「市民・事業者・行政が協力し合える関係」が必要だと思われます。私たち一人ひとりが、資源を大切にし、環境に極力負担をかけない生活スタイルにしていくと共に、そうした気持ちを実際に生かしていかなければなりません。『実現に向けての御意見』や『これからの決意』、『わかっているが、なかなかできないこと』などがございましたら御自由に御記入ください。

ア 実現に向けての御意見

- 私は61歳ですので、健康を考えた生活を中心にしています。健康でなければごみの片付けさえもできなくなるので大変です。ごみはやはり家にあるだけでも嫌ですので、早く片付けています。ですから以前からあるものをごみとして出すかどうか考えながら家の片付けをしていますので、新しいごみは出さないようにします。
- 毎日の生活の中で、新たに、とか、改めて、さあやろう！！と腰をあげるのは難しい…。けれど、子ども達が学校で幼稚園でそういった考えを教えられ、すりこまれて…それを親に「こうだよ！！」と言ったら…ハッ！！とするかも。親の行動を正すのは子どもからの発言って案外多いものです！！息子に、「信号赤だよ！進んじゃだめだよ！」と言われて反省したばかりです。
- もうすでに取り組んでいる自治体もありますが、ゴミ袋の有料化はどうでしょうか。取り組んでいる市などは取組む前と実施後でゴミの量に変化はあったのでしょうか。あったのであれば賛否両論もあると思いますが取り組む方向で動いていくのもいいかと考えます。
- ごみを販売しないこと⇒販売したら責任を持って回収。ごみを買わないこと⇒中身だけの購入。
- 食品廃棄量が多いことは以前から知っておりましたが、外食産業は量によって値引きする等の工夫、持ち帰りについて検討、スーパーは袋の有料化をもっと進めるべき。メーカーはゴミ分別しやすい容器にしたりリサイクルや詰め替えできる商品を開発・販売して環境に配慮した形を打ち出すことで企業イメージは上がっていくと思います。
- 家庭ごみは家族が増えたりライフスタイルが変わるとその量や質が変化し、減らすのが難しかったり、手間がかかると感じています。減らすことによって、どれだけ環境や家庭、経済に良い影響を及ぼすのか可視化・数値化できれば、さらにモチベーションがアップして頑張ろうと思えるので、そういったことを知る機会をもっていこうと思います。
- 頭ではわかっているけど、根本的になぜゴミを減らさないといけないのかが周知されていない気がする。つい簡単に捨てて、目の前から消えると便利で、なかなか減らそうとまで気が回らないかも。
- 不要な物を買わない。リサイクルを心掛ける。ほしい人にあげる。積極的にバザーを見つける。(意外とどこでやっているかわからない。)
- シェアリングエコノミーとして市としていないものを無料で回収して無料でほしい人にあげられる制度を作ってほしい。ジモティーのようなもの。お互いお金をかけず、モノのムダ遣いをなくせたらいいと思う。新しいルールをつくってほしい。
- 行政が主催して、例えば「ミックスペーパーの再処理から新しく完成するまで」「回収されたプラスチックは、このような製品に生まれ変わる」…等のタイトルで講座を設けたり、バスツアー等で、実際に現地に行って、各自の目で確かめることができればもっとすばらしいと思う。
- プラスチック製容器包装の分別収集に関しては、洗わないと出せないところが問題だと思う。わざわざ水を使ってまで、洗わなければ出せないのならと、出さない人も多いし(例えばつめかえ用液体洗剤の容器など、洗うのは困難)収集時に、収集場所の近くに住んでいる人に匂いの面で迷惑がかからないなら、出してもいい気がするが、いかがでしょうか。
- 大量消費社会においては、商品化が進む中で、運搬上、安全上、衛生上、販売上の理由から、パッケージ化が必須となり、ゴミも飛躍的に増えています。ゴミ対策の一番は、ゴミの元となる素材の自然への還元を進める事だと思います。ストローのプラスチックから紙への移行は参考になると思います。

次ページへつづく

- リサイクルよりもリデュース、リユースが効果的と考えます。「ゴミを少なくする」「分別して出す」についてはできることは、やっているのですが、広く興味を持つことによって、協力できる事が増えるかと思いました。
- 地球環境問題について、世の中全体として啓発教育活動がとても重要だと考えます。幼少期から地球環境問題に関する教育を行うことで、将来にわたり意識付けが醸成されていくかと思います。
- 商品を購入すると結局ゴミを増やす原因となるので、購入する際は、よく考えて必要最低限の物を買うことが重要だと思う。
- お店に物が溢れすぎている。シンプルに品揃えをして、多様に商品を置きすぎないようにし、客もあれがほしいこれがほしいといったわがままをおさえる必要がある。
- ごみを減らさなければならないこと自体は広く浸透していると思う。しかし、それが実際にゴミ減量につながっているかといえば、まだまだ不十分で、このギャップを解消するために、まずは私達大人が率先して具体的行動をおこし、それを子ども達にみってもらうことで、未来の大人達を育てていけると良いと思う。

イ これからの決意

- 5月に在宅で介護していた母親が旅立ち、それまでは、母親中心の生活でしたのでものを利用する時に必ず利用できるものを購入していたので、どうしても多くものを購入していました。現在は一人になりましたので、自分の考えで食料品などを限定して購入すれば良いので、実現しようと考えます。
- ごみを作らない、ムダをしない、すっきりとした生活スタイルは、憧れであり、この先、ずっとそれを目指して生きてゆくのだと思います。じゃなくて！！憧れじゃダメ！！なにか1つでも、実行するために興味を持ちたいなと思います！！
- 無駄な物は買っていないけれど、値下げした食料品などは、ついついお得な感じがするので買ってしまいます。結果、その日に調理せず、ダメにしてしまうことが時々あります。食品を捨てないようにすることが主婦である私の決意です。
- できることから始める。すでにできていることは、継続する。回数を説明。
- 「足るを知る」を心掛けております。過度に購入しない、食べられる物（量）だけ調理する。無駄に買わない。リサイクルできるものは分別して出す等して自身でできる範囲のことをムリない程度で行っていきたくて思っております。
- 今回同封されていた資料を拝見して、改めてごみ分別を意識するようになりました。家族や住んでいるマンションのお友達にもお伝えしていき、（特にごみ分別アプリは良いと思いました。）川崎市におけるゴミ分別の正しい知識を身につけ、環境にやさしい家庭を目指そうと思いました。
- 習慣付けて、気軽に自然にごみを作らない生活ができるようにしたい。
- 家の中の不用品をバザー等の機会に出して、少なくし、すっきりした暮らしを心掛ける。自分をゴミにしまわれないための一案と思う。
- モノはなるべく買すぎず、必要最低限で生活する。分別は守って地球に優しい生活をする。
- 事業者の「地域」との関わり認識を深めるよう「市民」「行政」「事業者」が一体となっていく必要あり。「事業者」としての何らかのメリットを与えてはいかかがか。（無償ではOK）地域の中で溶け込んでいける。

次ページへつづく

- アのようなことが実現したら、私は率先して参加したい。
- ゴミの素材が、自然に還元できないものは、回収サイクルで100%回収できるような仕組みが必要で、強く守る制度的取組も必要ではないでしょうか。
- 景品など無料だからといって不要ものはもらってこない。環境に負担をかけないためにはどうしたらよいかを考えるようにしたい。
- 1人1人の小さな行動でも、社会全体では大きな成果となると思うので、できることは（エコバック持参、確実なゴミの分別等）から、着実に実行していこうと思います。
- 拠点回収事業について。知ってはいたが、その場所まで近くないので、出したことはなかったが、今度は、注意して出していこうと思う。
- 地球温暖化など、ゴミも一緒に、自分たちの生活をおびやかすことだと自覚してほしい。知的レベルの高い生活が、本当のエコライフと思う。自分のことだけではなく、周囲への影響を考えると安心安全な暮らしへのいざないだと思う。
- 我が家の近くには、王禅寺エコ暮らし環境館がある。これまでに2度程訪ねたが、環境について楽しく学ぶ工夫がこらされており、子どもを連れて積極的に活用していきたい。又、これまで訪ねた際、どちらも他の来館者が少なく、とても残念でもったいなく感じた。近所の友人にも宣伝し、訪れてもらえる人を増やしていきたい。

ウ わかっているが、なかなかできないこと

- 食料品などで限定的にスーパーがプレミアを付けて販売する時があるのですが、自分も考えて購入するのですが、多く買ってしまうという商品もあるので、意外と食べなくなると置きっぱなしになってしまうので、大量に買うときはよく考えようと思います。
- 疲れていて料理をしていると、可食部をざっくり捨ててしまう。しいたけのいしづき、長ねぎのあおいところ、ほうれんそうや小松菜の根っこに近いところをざっくり切って捨ててしまう。
- プラスチック、ミックスペーパーなどは我が家では、ほぼ100%近く分別していると思います。普通ゴミはかなり少ないです。我が家のゴミ箱をみると…冬～春は使い捨てのマスク。年間を通してはフローリングの床を掃除するクイックルワイパーの使い捨てシートが多いです。どちらも繰り返し使える布の物にすればよいのかもしれませんが、なかなかできません。
- 野菜皮を使って「箸休め」などの一品調理を作ることについて農薬散布等での安全性への懸念があります。コンポストはにおいがするのではないかと。虫の発生等も気になります。
- 生ゴミを減らす事（フードロスを含む）買いだめや買い置きをつい多めにして結局無駄にしてしまう。スーパーの袋をもらってしまう事（エコバックを持ち忘れてしまう）
- 生ごみリサイクルは処理機やコンポストが有効だと思うが、ベランダのスペースの問題、においが気になってできない。
- スマホをやらないので中古市場に出せず、手つかずの陶器等箱入りのまま場所ふさぎとなっている。お店を見つけ、持って行ったことがあるが、自分の住所・氏名等を言わなければならない、やめてしまったことがある。（気軽にさせるといいのだが。）

次ページへつづく

- 正しく分別すること。プラスチック容器を普通ごみと一緒に出してしまふ。
- プラスチック容器を洗って出すこと。納豆の容器など毎日かなり出るが、洗ったりふいたりするのは、かなり手間なので、結局燃やすゴミに出している。
- ①贈答品の見栄えをよくするための箱やラッピング、なるべく簡素にと思うが、受け取る相手の印象を考えると難しい。お店の工夫（百貨店などは簡易包装をうたって、使用する紙を小さくしたりしている）に期待しています。
- ②今回拠点回収事業を知ったが、わざわざ持ち込むのはできないかもしれない。雑金属として出した家電は対象にならないのでしょうか？
- ③インクカートリッジは一応とっておくが、持ち込むところがわからず一般ゴミに捨てることが多い。
- 食品の購入について、必要な時に必要な分量だけを購入して消費することがわかっているが、いざ買い物に行くと、いろいろなおいしそうなお品々に目がくらんでしまい、消費できる範囲を超えた物量を購入してしまい、結果、消費できずに廃棄することになってしまうことが多い、（食品ロス）
- 生ゴミリサイクルは重要だと思うが、つい面倒に感じてしまう。
- ペーパーゴミを捨てるための紙袋が少ないので、ペーパーゴミ用の袋、配布を希望します。そのために（紙袋のために）買い物しなければならないことがよくある。
- ごみを極力出さないために、つめ替え可能な製品を選ぶべきだと分かっているが、価格の魅力につい負けてしまい、ゴミが出やすい方を選んでしまうことがよくある。又、我が家には2人の子どもがいるが、ゴミ問題について考える機会を設けたことがなく、子ども達は、まだゴミを減らそうという意識を持っていない。この2点が、気にはなりつつなかなか改善できていないことである。

エ その他御自由に御意見ををお願いします。（一部抜粋）

- ゴミは見た目も良くないし、特に生ゴミは、臭いを発生させるし、環境に良くないので、行政を中心にして地域で減量させることが重要です。私が利用しているごみ収集場所は、公園の一角にあるのですが、これは以前私がモニターアンケートの時に提言したものですのでそれが利用する場所として新しくなりましたので、うれしく思います。しかし、その隣はマンションですので、ごみ収集の日以外のごみを出す人もいますので収集日まで置いてあることがあります。特に隣のマンションの人はそうですが、公園を利用する人もごみを見てしまうし、臭いし、カラスなどが荒れさせてしまうので、やはりゴミ収集は曜日を徹底しなければ迷惑をする人が多いと考えます。
- 毎日の生活の中で、ちょっとしたチャレンジ精神、そしてちょっとした達成感があると、「よし！次もやろう！」につながります。長期的な戦略とともに、短期的な戦略（すごくやりやすい、誰でもすぐに見えるようなもの）を提示すると、次も！次も！となるんじゃないかな？と思います。例えば「問7の5」みたいなわかりやすいのがいいな。
- 数年前と比べて川崎を歩いているとアジア系の人達を多く見かけます。観光か居住しているのかはわかりませんが、ゴミの収集等についての指導・案内板などでの掲示は適切に行われているのでしょうか。私は、状況は把握しておりませんが、まず市からの発信は必要と思います。

次ページへつづく

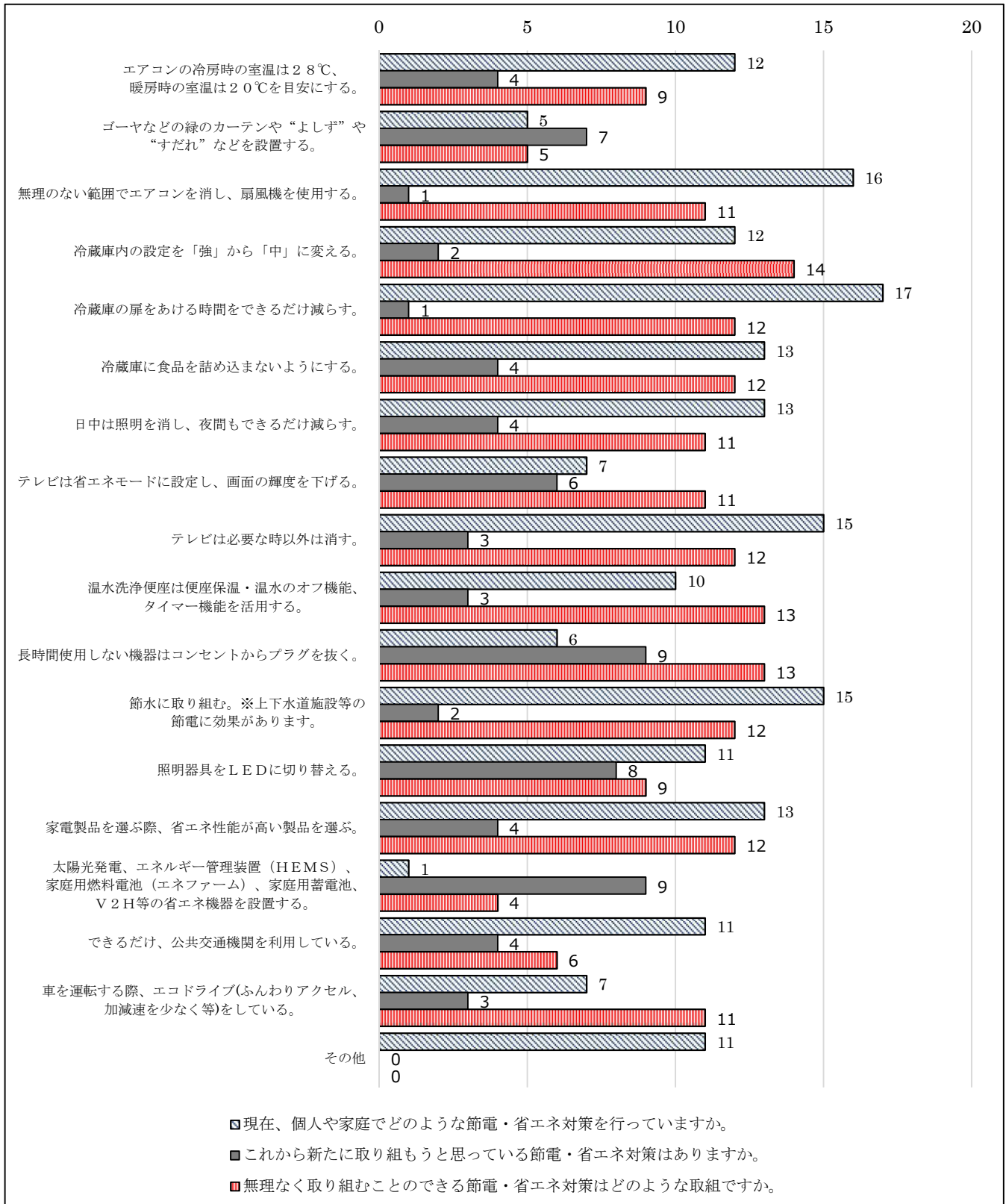
- 私の住む地域は、単身者や社宅が多く、リアルな人レベルでのコミュニケーションができないまま、ゴミ捨てのマナーがよくないであるとか、ゴミ捨て場からの資源ゴミの持ち去りなどを親子で見かけてしまう事があります。今回のアンケートの趣旨からは外れてしまうかもしれませんが、大人達が良い行いをすれば必ず子どもも見て真似をすると思っているので、まず家庭からゴミを減らす姿を見せてあげたいと思いました。
- (最近の学校での指導はよくわからないが) 子どもの頃から普通に「ごみを作らない」が行えるような環境が必要かも。親世代となって初めてのことはなかなか実行するのに時間がかかるが、小さいうちから当たり前に行えるような教育・啓蒙活動が有効ではないか。
- 事業者の認識を深めるために「行政」が行っている事。行っても「事業者」にカベ(経営とか)があってもやれないとしたら、解決策は三者で具体的に議論している場があるのかどうか知りたい。
- ①現在、プラスチック・缶・ビン・紙 etc のリサイクルが川崎市でも積極的になされている。
- ②以前、本で読んだが、「果たして、このリサイクルは本当に省エネになっているか？」という疑問が解けないままとなっている。
- ③この本では、リサイクルにかかるエネルギー(回収、洗浄、溶解・・・)が新しく作る時のエネルギーを上廻っており、“意味ない”との内容であった。
- ④本当はどっち？
- ①資源物とごみの分別化ルール(イラストでわかる)のパンフレットを初めて見ました。わかりやすいし、知らなかった事も多く、大変参考になりました。知らなかったこと：①ミックスペーパーとしてトイレットペーパーの芯、ホチキスの針がついたままの紙…カップ麺の容器(紙)②空き缶として：スプレー缶③ペットボトルのキャップとラベルはプラごみ④小物金属のサイズの測り方。
- ②「プラスチック製容器包装の分け方・出し方」には、知りたかった、どの程度きれいにすれば出してよいのかが示してあり、よかった。
- ③わからない事(分別のルートなど)をどこに聞いたらよいかかわからないので、いつもそのままになってしまっていました。今回いただいたパンフレット類はどこで手に入るのでしょうか。川崎市ホームページでも見る事ができるのでしょうか。
- ④スマホアプリ、PCでも使えるようにしてほしいです。
- 消費生活モニターに今回なることによって、今迄以上に地球環境問題について考える機会を与えて頂いたと思います。
- ゴミをすてて歩く人がいる。街が汚れていやな気持ちになる。捨ってもゴミを捨てる袋がないし、ゴミを捨てられないから持ち帰りもできなくて、そのまま見過ごすことが多い。京都のような、常に掃除が行き届いた街が理想です。市民の意識が高いと思われませんが、どのような取り組みなのか、参考にさせていただきたいです。市政だよりなどに研修の様子をのせてほしい。
- ゴミを減らして環境を守るため、レジ袋の有料化やマイバック持参によるポイント獲得のシステムは個人的にはとても良いと思う。レジ袋が無料だったり、マイバックを持参してもお得感が何もないのではなかなかレジ袋の使用が減らないと考えられるからである。このように、ゴミを減らして環境保全に貢献したい消費者の気持ちをうまく汲みとる構図がもっともっと増えていくと良いのではないだろうか。そして、そんなアイデアを広く募ると、事業者や行政にとって有益なものとなると感じる。また市民にとっても環境問題について考える貴重な機会になると考える。

Ⅱ 節電・省エネ等について

【問1】 日常生活において節電や省エネを意識していますか。該当するもの1つに○印をお願いします。

- ① 非常に意識している 32%
- ② ある程度意識している 68%
- ③ あまり意識していない 0%
- ④ 意識していない 0%

【問2】 家庭で取り組んでいる（取り組む予定）の節電・省エネ対策についてお聞きします。

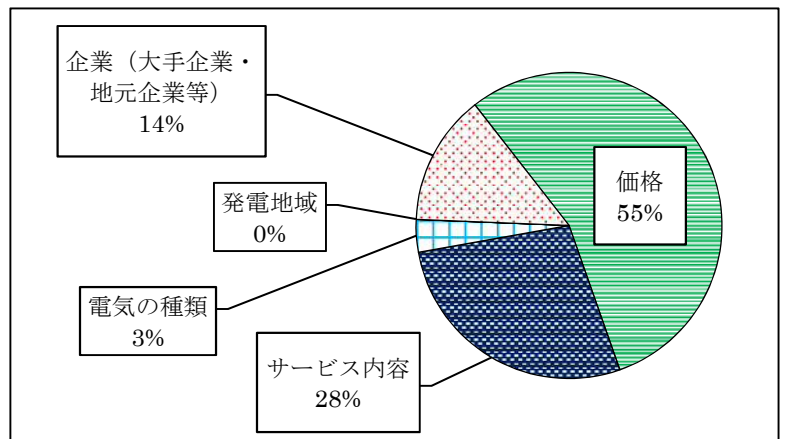


◎その他（具体的に）

- ・父親、そして母親を在宅で一人で介護していましたが、テレビを購入する時に外にアンテナを付けなくなり、我が家は3階ですので、取り付ける時も危険ですので、その時に購入をやめたのです。その後両隣の2階の家のアンテナが台風の時に落ちて我が家が被害を受けたので、テレビを見なくなりました。
- ・次買うのは、低燃費低排気レベルが高いものにしたい！！
- ・冷蔵庫を省エネタイプものに買い替えたい。
- ・節電…家電のコンセントをできる限りスイッチ式にして、使用しない時は切る。
- ・電気自由化に伴い、値段の安いパックに切り替えた。
- ・照明で使用していない箇所は間引きしている。風呂はできるだけ同じ時間に入る。打ち水をする。
- ・2リットルの水のペットボトルの空いたものに、水道水を入れ、非常用の生活水として保管、古くなるとベランダに出し保管し、順次ベランダそうじ等に使う。
- ・スタシなどを買って日光を防ぐ。
- ・テレワーク、シェアオフィスの利用。
- ・早寝、早起きで、節電と健康を手に入れている。
- ・暑い季節は子どもを庭プールに入れる。図書館等へ出かける等し、エアコンの使用を控えている。

【問3】 平成28年4月から、一般家庭等すべての需要家が電力会社を選べるようになりましたが、電力会社を選ぶ際、何を重視しますか。

- ①価格
- ②サービス内容
- ③電気の種類
- ④発電地域
- ⑤企業（大手企業・地元企業等）



【問4】 川崎市では、平成22年12月から川崎市地球温暖化防止活動推進センターを指定し、地球温暖化防止対策の普及啓発を推進しています。地球温暖化防止活動推進センターでは、高津市民館内に設けた情報発信拠点「CCかわさき交流コーナー」を運営し、地球温暖化防止対策に関する取組の相談・パネル展示・講座の開催等を行っています。

(1) CCかわさき交流コーナーについて、①～④中でもっとも近い回答に、○印を付けてください。

- ①行ったことがある。 11%
- ②知っている。 5%
- ③聞いたことがある。 16%
- ④知らない。 68%

(2) 問4の(1)で①行ったことがある、②知っている、③聞いたことがあると答えた方に質問です。どこで『CCかわさき交流コーナー』の情報を得ましたか。当てはまるものすべてに○印をお願いします。

- ① 新聞・雑誌 0%
- ② テレビ・ラジオ 0%
- ③ 市政だより 42%
- ④ 環境情報（市発行の冊子） 8%
- ⑤ その他市発行のチラシ等 17%
- ⑥ インターネット 8%
- ⑦ 実際に行った人から聞いた 8%
- ⑧ その他 17%
- ⑨ わからない 0%



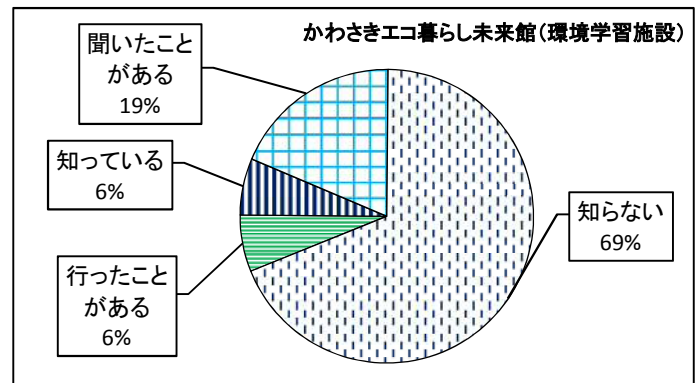
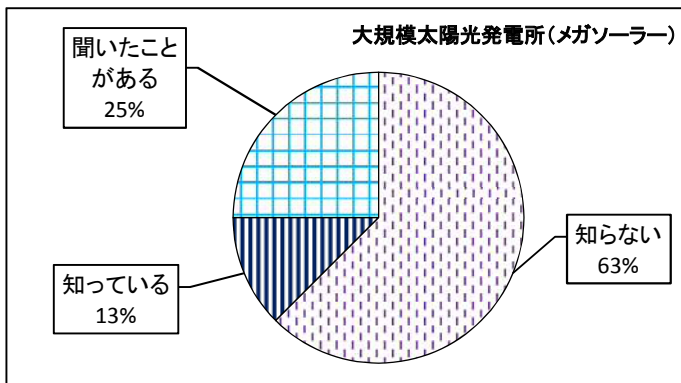
その他具体的に

- ・このモニターに参加して
- ・高津市民館に行った際に、「CCかわさき交流コーナー」の存在を知りました。

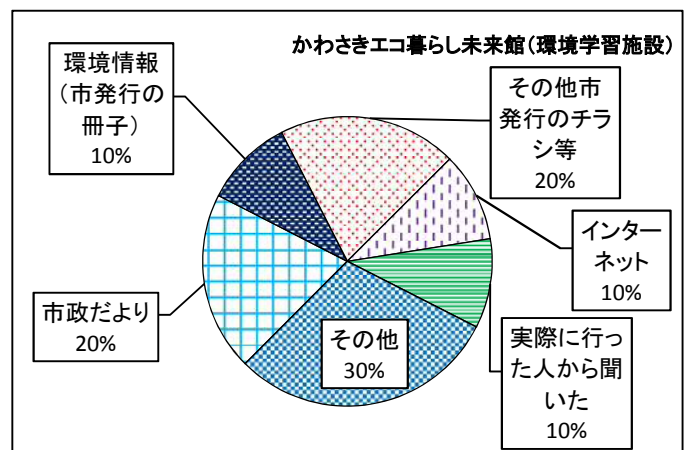
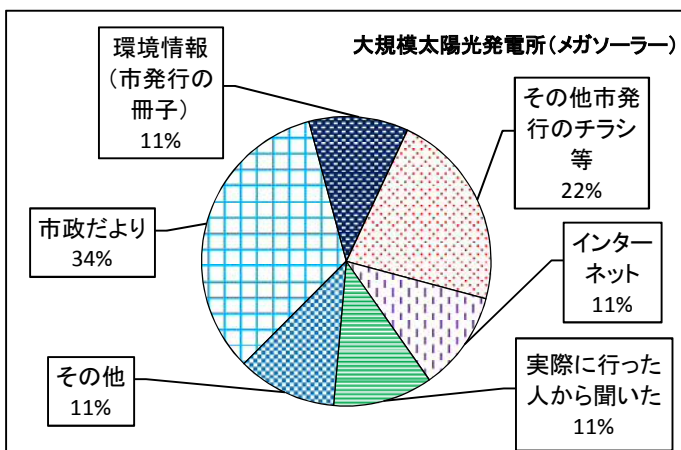
【問5】 川崎市内には、国内最大級の大規模太陽光発電所があります（メガソーラー）。また、浮島町にはメガソーラーを始めとした再生可能エネルギーや、地球温暖化について体験的に学べる「かわさきエコ暮らし未来館」があります。

再生可能エネルギーの普及に向けた様々な取組を川崎市では行っているところですが、今後の普及・啓発の取組みの参考とするため、次の問にお答えください。

(1) 川崎市にある大規模太陽光発電所（メガソーラー）、かわさきエコ暮らし未来館（環境学習施設）についての質問です。それぞれについてももっとも近いものを選んでください。



(2) 問5(1)で①行ったことがある、②知っている、③聞いたことがあると答えた方に質問です。どこで各施設の情報を得ましたか。当てはまるものすべてに○印をお願いします。



【問6】 節電対策や省エネ等についての御意見等ございましたら、自由に記入して下さい。

- インターネット、そしてテレビも私は利用していませんが、電気を利用しないのでそれだけでも節電になると考えます。インターネットは利用すればもちろん便利なこともたくさんあると考えますが、先日も痛ましい事件も発生してしまいましたし、テレビは、在宅で介護しているときに24時間いつ用事が起きるかわからないので、目を奪われるので思い切って利用しなくなり良かったと思う。
- 大人向けの啓発ポスターなどは、よく見かけますが、学校・幼稚園以外の街中などでも、子ども向けのポスターや意識づけする物があれば良いと思う。子どもが当たり前のように省エネ意識を持つことが、将来につながるし、大人もはっとさせられ、行動につながると思います。(例：4才の息子「お母さん、電気つけっぱなし!!」私「すみません、消します。」)
- 飲食店やショッピングセンター、電車の中、オフィスなど必要以上に夏の冷房がきいている所があります。家庭だけではなくそういった公共の場でも節電を心がける必要があると思います。またトイレなどでセンサーによる流水も必要ないのではと思います。
- 電気の使用料をスライド制にして、大量使用者に負担を大きくする。小口の一定量までは割引等の特典を付ける。
- 家庭では節電を意識しているものの、国や企業などの経済面では、節電ばかりを意識すると国力が低下しないのか考えてしまう事がある。豊かな生活とは何なのか、もう一度意識をしてみる必要があると思いました。
- 徹底すればもっとできるのに、慣れて気が緩み、日々過ごしておりました。これを機会にまた意識して生活していこうと思います。
- 消費生活モニターとして、いろいろ学ばせていただいている以上、他方面で関心を持ち続けていきたいと思っています。
- 電力会社でのアンペア契約などを見ると、アンペア数を下げてもあまり価格メリットを感じられません。どのような工夫が最も効果的か学びたいと思っています。
- 節電や省エネに対しては、一時期より世の中全体の関心がうすくなっているように感じます。電気代節約という観点だけでなく、なぜ節電・省エネが必要なのか、広く関心を持つようにしたいと思います。
- 今迄以上に、節電・省エネに関して、意識して生活をしていきたいと思っています。
- コンビニは、24時間じゃなくてもいいと思う。労働時間の長さも無駄を見直した方がいい。
- 図書館のように、誰でも気軽に利用できる空調が効いた空間がもっと増えれば、各家庭でのエアコン使用を抑えられると思う。又、家電等の省エネ商品には価格面や+αの景品等、お得感を付与させてでも普及させるべきだと思う。